

## 2024年1月28日（日）第二礼拝 「聖書的癒しの原理」使徒の働き 3章 3-6節

ペテロとヨハネは、足のなえた物乞いの男性に「金銀は私にはない。しかし、私にあるものを上げよう。ナザレのイエス・キリストの名によって、歩きなさい。」と癒しを宣言しました。その男性が癒されたのを見て、人々が集まって来ました。ペテロとヨハネは、この男性が健全になったのは自分の力や信仰深さではなく、イエス様の御名を信じる信仰によるのだと言いました。

第一番目、私にあるものを上げよう。ペテロとヨハネはイエス様の御名を大胆に使い、癒しを行いました。イエス様の御名を信じる人はイエス様の御名を持っています。イエス様の御名には福音の秘密、神様の永遠の契約(約束)があります。ヤハウエ・ラファ、イエス様の御名は癒しであり、権威と祝福があります。イエス様が十字架で死によみがえられた後、「わたしには天においても、地においても、いっさいの権威が与えられています。それゆえ、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。」(マタイ 28:18,19)とされました。この御名の権威を、イエス様は教会に、また、イエス様の御名を信じる私たちに委任されました。「信じる人々には次のようなしるしが伴います。すなわち、わたしの名によって悪霊を追い出し、新しいことばを語り、蛇をもつかみ、たとい毒を飲んでも決して害を受けず、また、病人に手を置けば病人はいやされます。」(マルコ 16:17~18) モーセは神様から与えられた杖を使って紅海を分け、イスラエルの民はその海の真ん中の乾いた地を通りました。同様に、私たちがイエス様の御名を大胆に使うなら、信仰が与えられ、そこに癒しが起こります。イエス様の御名以外に救いはありません。

第二番目、癒される人の信仰です。イエス様の言葉を聞いて信じた人たちは癒されました。「娘よ。あなたの信仰があなたを直したのです。」(マルコ 5:34) 癒しは即座に起こることもあれば、徐々に癒しが起こることもあります。重要なのは癒しの信仰です。「信仰は聞くことから始まり、聞くことは、キリストについてのみことばによるのです。」(ローマ 10:17) しかし、イエス様の郷里であるナザレでは、人々はイエス様を大工の息子(人)と見なし、受け入れませんでした。そのため、彼らの不信仰のゆえに、そこでは多くの奇跡をなさりませんでした。(マタイ 13:54~58) イエス様が地を歩き巡り人々に信仰について教えられましたのは、信仰によって人々が癒されるためです。癒しは神様の御心なのです。

第三番目、イエス様が癒されます。「またわたしは、あなたがたがわたしの名によって求めることは何でも、それをしましょう。父が子によって栄光をお受けになるためです。」(ヨハネ 14:13) イエス様の御名によって求めるならば、イエス様ご自身が成し遂げてくださいます。紅海が分かれたことも、苦い水が甘い水になったことも、死人のよみがえりも、全ての奇跡は主がなされたことです。ですから、イエス様の御名によって癒しや奇跡を行う人に注目したり、称賛してはいけません。全ての栄光を主に返すことが大切です。主の御心は、主の御業を通して人々に福音を伝え、多くの人々が救われることです。アーメン！